

「細川」「県美」  
コレクション展  
HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
COLLECTION EXHIBITION



スケジュール (第Ⅱ期～第Ⅲ期)

	特別展	細川コレクション	県美コレクション
7月	レオナルド・フジタとパリ 芸術の都に愛された画家 —藤田嗣治没後100周年— 7月2日～8月25日	細川コレクションⅡ (特集) 工芸にみる日本の意匠 7月2日～9月23日	県美コレクションⅡ (特集) 義尹と大智、肥後の禪宗 7月2日～9月23日
9月	展示作業等による臨時休館 9月24日～9月30日		
10月	山下清展 —放浪の天才画家— 10月5日～12月15日	細川コレクションⅢ (特集) 幕末の肥後 10月1日～12月23日	県美コレクションⅢ (特集) 今西コレクション名品展 10月1日～12月23日

関連イベント

ミュージアムセミナー

展示会の内容や当館の活動に関するくわしい話、美術や歴史についての裏話などを楽しくご紹介するセミナーです。事前申込みは不要で、どなたでも無料で参加できます。

7月13日(土) 14:00～15:00  
「肥後禪宗の芸術～仏像彫刻を中心に～」  
講師：当館学芸課主任 有木芳隆

8月24日(土) 14:00～15:00  
「工芸品にみる文学的意匠について」  
講師：当館学芸員 才藤あすさ

子ども美術館

展示会の内容にあわせ、美術や歴史の理解につながる子ども向けのワークショップを開催します。事前申込み不要で、どなたでも無料で参加できます。ただし、展示室に入場される場合には、一般のお客様は観覧料が必要となりますのでご注意ください。

7月28日(日) 10:30～12:00  
「パリの街へタイムスリップ1913」  
8月25日(日) 10:30～12:00  
「外に飛び出せ！くもの巣作り」

同時開催

レオナルド・フジタとパリ  
芸術の都に愛された画家  
—藤田嗣治没後100周年—  
藤田嗣治(レオナルド・フジタ)と、1913年の渡仏後に彼と交流した芸術家たちの作品を通して、華やかな時代の姿を浮かび上がらせながら、藤田の芸術世界を紹介していきます。



藤田嗣治(特展)  
1923年フォーブル美術館(フランス)展  
Musée Faur-Aubert, Paris & JASPER, Tokyo, 2013, E0202

2013年7月2日(火)～8月25日(日)  
本館1階展示室  
主催：熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK熊本放送  
入場料：一般1300円(1000円) 高・大学生800円(500円) 中学生以下無料  
( )内は前売り及び20名以上の団体料金 障がい者手帳をお持ちの方無料

学芸員による  
ギャラリートーク

会期中の毎月第二・第四日曜日の14時から、当館学芸員が展示作品について30分程度解説いたします。開始時間前に二階会場入口までお越しください。なお、ギャラリートークのご参加には観覧料が必要となりますので、ご注意ください。

7月14日、7月28日、  
8月11日、8月25日、9月8日、9月22日  
14:00～14:30

障がいのある方々の  
鑑賞デー

障がいのある方々がゆっくりと鑑賞できるよう、通常休館日である日を臨時開館して開催するイベントです。午前、午後とそれぞれ一回ずつ、各展示室で手話通訳付きの展示解説を行います。皆様お気軽にご参加下さい。

7月29日(月)

交通案内

- バス/交通センターから歩いて15分、または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しるめぐりん)に乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/熊本城・市役所前または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで熊本城二の丸駐車場下車、歩いて3分上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、センターから歩いて15分または熊本城周遊バスに乗り換え「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)三の丸駐車場(有料)

Transportation guide



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
熊本県立美術館  
本館 〒860-0008 熊本中央区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512

「細川」「県美」  
コレクション展  
HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

細川コレクション  
＜特集＞ 工芸にみる日本の意匠  
主催/熊本県立美術館・熊本日日新聞社・RKK熊本放送  
協力/熊本県観光推進本部 熊本銀行  
特別協力/公益財団法人 永青文庫

県美コレクション  
＜特集＞ 義尹と大智、肥後の禪宗  
主催/熊本県立美術館

2013. 7. 2. Tue → 9. 23. Mon  
※作品保護のため、会期中に一部作品の展示替えを行います。【前期】7月2日(火)～8月18日(日) 【後期】8月20日(火)～9月23日(月)

熊本県立美術館本館 〒860-0008 熊本中央区二の丸2番 TEL.096-352-2111 FAX.096-326-1512

■細川コレクション常設展示室(別棟展示室+二階展示室第1室) ■県立美術館コレクション展示室(二階展示室第2・3室)

開館時間/9時30分～17時15分(入館は16時45分まで)  
休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)  
7月29日(月)は「障がいのある方々の鑑賞デー」として閉館

観覧料金	■共通券/一般400円(300円) 大学生240円(180円) ■別棟展示室のみ/一般200円(150円) 大学生120円(100円) ■本館二階展示室のみ/一般260円(190円) 大学生160円(120円)	高校生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方無料 ※( )内は20名以上の団体料金 ※前売券なし
------	---	---

細川コレクション

公益財団法人永青文庫の所蔵品を通じて、熊本の歴史や美術、そして細川家の大名文化を総合的に紹介する「細川コレクション」。第Ⅱ期では、細川家に伝わる武具・甲冑や、水前寺成趣園にまつわる絵画、《領内名勝図巻》の中から「日州高千穂豊後竹田領内」の巻を展示します。また、細川護立の収集した中国美術や横山大観の襖絵などを展示します。

「細川」「県美」  
コレクション展  
HOSOKAWA & PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTION EXHIBITION

県美コレクション

熊本県立美術館が所蔵する美術工芸品を通して、熊本の美術と歴史を紹介する「県美コレクション」。第Ⅱ期では、細川家御用絵師の絵画、肥後の金工、八代焼や小代焼などの陶磁器、高野松山など熊本ゆかりの近代工芸などを展示します。また、パリで藤田嗣治に学んだ海老原喜之助にスポットを当て、その画業を紹介いたします。

常設展示:別棟展示室



矢野良郷(領内名勝図巻)「日州高千穂豊後竹田領内」部分 江戸時代後期(18世紀末) 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

《古今伝授の間 竹に人物障壁画》 桃山時代(16～17世紀) 永青文庫所蔵 熊本県立美術館保管

細川綱利所用(紅糸威大鎧) 江戸時代(18世紀) 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

常設展示:本館二階展示室



矢野良郷(遊樂図屏風)江戸時代中期(18世紀) 熊本県立美術館所蔵(前期展示)

海老原喜之助(雪中群鳥)昭和7年(1932) 熊本県立美術館所蔵

海老原喜之助(曲馬)昭和10年(1935) 熊本県立美術館所蔵

＜特集＞ 本館二階第1室  
工芸にみる日本の意匠

文房具や調度、衣裳など、私たちの身のまわりで用いられてきた工芸品の数々は、多彩な色と形による華やかな意匠(デザイン)によって彩られています。そこには、源氏物語や謡曲などの古典文学を主題とした意匠、花鳥を主題とした意匠など、それぞれの時代の好みや美意識を反映した様々な意匠をみることが出来ます。本展では、細川家伝来の調度や衣裳を中心に、様々な工芸品にあらわされた日本の意匠の世界を紹介します。武家女性の衣裳に典型的な「御所解」模様の小袖、金銀の蒔絵で自然の風物をあらわした楽器、透かしや象嵌で様々な意匠をあらわした刀装具など、多彩な工芸品の数々をご覧ください。



《花文文房絵巻》 江戸時代前期(17世紀) 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

《龍田川舟絵小袖》 江戸時代中期(18世紀) 永青文庫所蔵(複製展示)

《浅草地蔵所解模様の小袖》部分 江戸時代末期(19世紀) 熊本県立美術館所蔵

《黒漆花文木製線箱下》部分 江戸時代中期(18世紀) 熊本県立美術館所蔵

《金象嵌地文文房絵巻-甲》 江戸時代中期(18世紀) 永青文庫所蔵 熊本県立美術館寄託

＜特集＞ 本館二階第2室  
義尹と大智、肥後の禪宗

今回の特集は、「義尹と大智」と題して中世熊本の歴史と文化に大きな足跡をのこした二人の禅僧ゆかりの美術品と史料を一堂に紹介します。寒巖義尹(かんだん・ぎいん、1217～1300)は皇室の出身で、曹洞宗の開祖・道元の弟子となり、2回の中国留学を経て熊本川尻に大慈寺を開きました。大智(だいち、1290～1366)は宇城市不知火町の出身で、幼くして義尹の弟子となり、のちに中国に渡って11年間におよぶ修業を遂げ、帰郷して玉名・広福寺を開いた禅僧です。義尹や大智の肖像彫刻、《重文・寒巖義尹文書》、《重文・広福寺文書》のほか、道元禅師手鑑の袈裟(前期展示)など貴重な文化財をぜひご覧ください。



《大説撰供養草紙》(重要文化財) 弘安元年(1220) 大慈寺所蔵(熊本市)(複製展示)

《寒巖義尹肖像》(重要文化財) 永正7年(1509) 大慈寺所蔵(熊本市)(複製展示)

《竹葉圖》(熊本指定文化財) 南北朝時代(14世紀) 大慈寺所蔵(熊本市)(複製展示)

《本造寒巖義尹像》 鎌倉・鎌倉時代(12世紀末～14世紀) 体徳・聖徳寺代(天文11年(1542) 大慈寺所蔵(熊本市))

「永青文庫」とは?

永青文庫は、江戸時代に肥後熊本の地を治めていた細川家に伝わる美術工芸品や歴史資料等を保存・研究するために設立された公益財団法人です。細川家の「始祖」とされる細川頼有が関する京都建仁寺の「永源庵」の「永」と、近世細川家の「初代」とされる細川藤孝(幽斎)の旧領・京都西岡の「青龍寺城(勝龍寺城)」から「青」の一字をとり、第16代細川護立氏によって命名・設立されました。当館では、東京の公益財団法人永青文庫が所蔵する様々な美術工芸品や近世屏風、そして近代日本画などを展示できるように「細川コレクション常設展示室」を設立し、およそ3ヶ月ごとに展示替えを行いながら、永青文庫の名品を常時展示しております。



浜田知明版画室

浜田知明版画室では、熊本市在住の版画家・彫刻家である浜田知明の作品を入れ替えながら常設展示しています。今期は、1974年の《家族(大)》、《いらいら(A)》の2点と、1975年に出版したオリジナル版画集《見える人》の8点の銅版画作品を展示します。この頃作者は56歳、自分自身の体調を気にしながら眺めた日常を作品化しています。彫刻は、作者が彫刻を作り始めた初期の作品で《見える人》の《情報過多の人間》と《顔》を立体にした2点を紹介します。



浜田知明《いらいら(A)》昭和49年(1974) 熊本県立美術館所蔵